



著者プロフィール: 日本を代表するフラメンコギタリスト。幼少の頃よりヴァイオリンを始め、その後ギターを独習。A-JARIやチリクマルカ等のグループ活動を経て、明治大学在学中にフラメンコギターを始める。98年長期渡西。マドリードのタブラオ・カサ・パタス、やセビージャのラジオ番組に出演。帰国後はカニサレスとの共演やNHK「音楽のある街で」出演。主な参加CD・DVD: 風回廊(渡辺えり)、天国を見た男(沢田研二)、Boy (coba) 他。Estudio ROMERO 主宰。

VOL.2
SOLEÁ ①

～はじめに～

今回からは「フラメンコの母」と言われるほどフラメンコの中で重要な曲種であるソレアを取り上げます。まずはソレアのさまざまなエスティロ(形式)と基本的なコンパス(リズムやアクセントの取り方など)から整理していきましょう。

ソレアのエスティロ(形式・スタイル)

セビージャのトゥリアーナ地区を起源とするソレアは、その後アンダルシア各地に広まって、その土地や創唱者(歌手)による独自の発展をとげました。

地域 主な唱法

Soleá de Alcalá : Soleá de Joaquin el de la Paula: 踊りの1歌でよく歌われる。力強く重厚。

Soleá de Jerez : Soleá de Frijones: 踊りの2歌向き。ハイテンション。

Soleá de Triana : Soleá de la Andonda: 最も古く、やはり踊りの2歌に歌われる高いメロディーが特徴。

Soleá de Utrera : Soleá de la Serneta: 比較的軽いリズム。ソレア・ボル・ブレリアで歌われることも多い。

Soleá de Cádiz : Soleá del Mellizo: 他にSoleá de Paquirri など、メロディーのバリエーションが多い。

上記を参考に、踊り伴唱の際はその振りに合った的確なエスティロの歌を選んでください。ギターもエスティロの特徴や1歌と2歌のテンションの違いなどで、伴奏の仕方を変えると効果的です。

ソレアのコンパス

12拍子。基本的には1拍目から始まって、3、6、8、10、12拍目にアクセントがある。

基本的なアクセントの位置

1 2 ③ 4 5 ⑥ 7 ⑧ 9 ⑩ 11 ⑫

その他、3、7、8、10、12拍目や3、6、9、12拍目にアクセントがくることもある。

1 2 ③ 4 5 6 ⑦ ⑧ 9 ⑩ 11 ⑫

1 2 ③ 4 5 ⑥ 7 8 ⑨ 10 11 ⑫

次に、ソレアの基本的なパルマのたたき方を説明します。

基本的なパルマのたたき方

	1	2	③	4	5	⑥	7	⑧	9	⑩	11	⑫
パルマ	♪	♪	♪				♪	♪		♪		
足			👠			👠	👠	👠		👠		👠

上記のように基本のアクセントである、3、6、8、10、12拍目には必ず足をふみます。

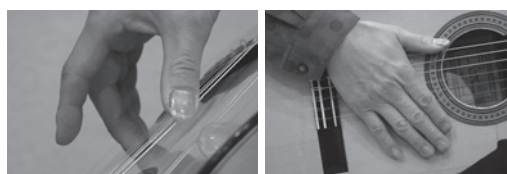
しかしアクセントのあるはずの6拍目と12拍目にパルマ(手)はたたかないことが重要です。6拍目や特に12拍目にパルマをたたくと、踊りや歌やギターより先にリズムを出してしまうことになって、パルマが指揮者になってしまうからです。

パルマは非常に重要ですが、踊りや歌やギターの上に出ることはありません。縁の下の力持ちと言った役割でしょうか。低い部分でしっかりコンパスを支えてください。

ワンポイント→ギター

フラメンコギターにはボディをたたいて音を鳴らす、ゴルペgolpeという奏法があります。指や爪でたたけば高い音色ですが、手のひら全体でたたけばパルマのソルダと同様の低い音色を出すことができます。

また、慣れるとギターを構えながらパルマをたたくこともできます。踊りの効果的な伴奏はギターの音を鳴らすことだけではないので、いろいろ研究してみてください。



指や爪でたたく

手のひら全体でたたく



ボディをたたく

パルマ

ソレアの一般的な踊りの構成例

ギター前奏→カンテサリーダ→歌1→ファルセータ→歌2→エスコビージャ→ブレリア→ハケ

この他の構成としては、歌の数が違ったり、ファルセータやエスコビージャの場所が違ったり、2歌のかわりにソレア・ボル・ブレリアやブレリアのかわりにロマンセなどの歌が入る場合もあります。サリーダや歌振り・ファルセータ部分はパルマをたたかない場合も多いですが、上記のような音数の少ないたたき方をすれば、歌やギターの邪魔にならずに効果的なパルマをたたくことができます。

ワンポイント→歌・ギター

ソレアは8音節の3行または4行詩で構成されています。下に代表的な詩と日本語訳と簡単なギター伴奏コードを載せておきます。参考にしてください。

Soleá de la Serneta

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Presumes que eres la ciencia,	あなたは自分が物知りと						E7					Am	
yo no lo comprendo así,	思っているがそうではない。	Am	G	F				F	E	F	E		
y porqué siendo tú la ciencia,	もし物知りだったなら、			G7								C	
me hubieras comprendido a mí.	わかってくれただろうに。	Am	G	F				F	E	F	E		

エスコビージャやブレリア部分のリズムやパルマのたたき方は次回に詳しく説明していきますので、楽しみにしてください。

音源は片桐勝彦 HP で聴けます！ URL <http://www.toshima.ne.jp/~kata/katsu>
同内容のパルマクラス、スタジオロメロで開催中。5月13、27日、20:40～終電ぐらいまで